

# 2024-25年度の各委員会の方針

1) クラブ奉仕委員会 (職業分類・会員選考兼務)	委員長	村 司 辰 朗
①会員増強委員会	委員長	岩 本 洋 子
②親睦委員会	委員長	横 田 広 司
	受付	古 澤 伸 之 唱歌
	家族会	藤 田 充 男 ゴルフ
③雑誌・広報・会報委員会 HP(ホームページ)担当	委員長	小 寺 潤 一
		宮 田 幹 二
		村 司 辰 朗
		小 川 佳 伸
		澤 木 政 光
Instagram ロータリーの友		
2) 職業奉仕委員会	委員長	田 畑 榮 彦
3) 社会奉仕委員会 留学生支援 子ども食堂	委員長 委員長	佐 川 正 治 宮 田 幹 二 船 橋 輝 夫
4) 国際奉仕委員会	委員長	藤 田 充 男
	GG担当	小寺潤一、松尾宗好
カウンセラー	武 枝 敏 之	村 司 辰 朗
	小 川 佳 伸	宮 田 幹 二
		岩 本 洋 子
5) 青少年奉仕委員会 教育問題検討委員会	委員長 委員長	船 橋 輝 夫 畑 田 耕 一
6) R財団・R情報・研修委員会	委員長	宮 田 幹 二
7) 米山奨学委員会 米山カウンセラー	委員長	松 山 辰 男 船 橋 輝 夫
8) クラブ史編集・規定細則委員会	委員長	米 田 眞
9) 未来計画委員会	委員長	宮 田 幹 二
10) SAA		武 枝 敏 之

## 1)クラブ奉仕委員会(職業分類・会員選考兼務)

委員長 村司 辰朗

クラブ奉仕が他の奉仕委員会と大きく違う所は、奉仕をする主語が2つある点です。職業奉仕にしても、社会奉仕でも、国際奉仕、青少年奉仕も基本的に主語は会員です。ところが、クラブ奉仕は会員がクラブに奉仕する部分と、クラブが会員に奉仕するという2つの面を持っています。会員がクラブに奉仕するというのは、標準ロータリークラブ定款(2007改訂)第6条五大奉仕部門の1には、「奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために。クラブ内で会員がとるべき行動にかかわるのである」とあります。主語は会員です。

またマイロータリーには「クラブ奉仕は、会員同士の関係をとほぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うこと」とあり、主語はクラブです。

クラブ奉仕のなかの親睦委員会、雑誌広報会報委員会、会員増強委員会など主語はクラブであり、クラブがクラブ運営として会員に奉仕をしています。

クラブ会員の義務として、クラブの例会にはできるだけ出席すること。会員同士が積極的に交流すること、それは懇談であり、意見交換であり、情報交換であり例会の場で学びと交流を深めていきます。具体的には、会員スピーチやゲストスピーチ、クラブフォーラムなどです。それによって、互いの敬愛の念や信頼の念、また経営のヒントや職業観、人生観を養い、それがロータリー観を発展させ、また奉仕の意欲や喜び、満足感が満たされます。そういったことでロータリアンとしての誇りを生み、それにより自身の成功や飛躍の機会が生まれてきます。会員がクラブに対して果たす義務は、親睦と学びと成長であり、クラブの会員のだれもが素晴らしい真のロータリアンになるように、他の会員やクラブへの奉仕をしていかなければなりません。そうすればクラブは発展し、会員も増えるでしょう。

クラブがクラブ会員に対して果たす責務(クラブリーダーの責務)、大切なことは、魅力的で価値あるクラブ運営を心がけることです。いくつか具体的に上げると、

### ●魅力的で価値ある例会の開催を心がける

親睦と学びの時間とする会員同士の交流によって、意見交換、情報交換などの時間にする敬愛につながる会員スピーチは、事業経営、職業観、ロータリー観、家族愛、人生観を深めることにつながる

### ●魅力的で価値ある奉仕プロジェクトを立案する

会員が知恵と汗を出し、クラブの一体感と達成感を感じられる、社会的に貢献度の高い奉仕プロジェクトを考え、そして実践する

### ●クラブの一体感

大切なことは居心地の良いクラブであることです。

例会は、ほっとする場、憩いの場、明るく楽しい場、親睦と交流と成長の場で奈なくてはなりません。新入会員やゲストを含め、だれもが疎外感を感じない配慮をする事が大切です。

大切なキーワードは、「例会に来てよかったと思える例会づくりを心がける」です。  
クラブ奉仕とは簡単にいえば「人づくり」といえます。

以上は寒河江ロータリークラブのPast Governor、鈴木一作氏の講演から抜粋したのですが、広く会員に知っていただきたくご紹介しました。

今年度、副会長として会長を補佐し、より良いクラブ運営が実行されるよう努力いたします。  
皆様、どうぞ宜しくお 願い致します。

#### ① 会員増強委員会

委員長 岩本 洋子

2660地区において、毎年一つぐらいのロータリークラブが解散してなくなっています。

2024年7月時点では、77クラブとなると思われます。解散理由は会員数の減少です。

長尾ガバナー補佐エレクト(今年度はガバナー補佐)は、いろいろなクラブを回って見ておられて、「30人がクラブの存在の分岐点ではないでしょうか」と言われました。豊中ロータリークラブはまさにその30人になろうとしています。

いろいろな方法とルートを使って会員増強をしていかないといけないと思っています。

どうか皆様のご協力をお願いいたします。

#### ② 親睦委員会

委員長 横田 広司

会員相互の親睦を深めるため、会員のご家族の方々にロータリークラブの活動へのご理解を頂くために今年度も各種行事を実施する予定です。

すべての会員とご家族の方が参加して頂けるよう企画運営を行って参ります。

会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

#### ③ 雑誌・広報・会報委員会

委員長 小寺 潤一

雑誌、広報、会報委員会は、「Rの友」「ホームページ担当」「Instagram」「HP,写真担当」の委員の皆様のご御力と新しいホームページを得て豊中ロータリークラブのイメージ向上のため発信していきたいと思っております。

#### ○ HP(ホームページ)

担当 宮田 幹二 村司 辰朗

ホームページ担当は、ホームページの週報、行事予定を都度更新してきました。

2023—2024の年度に新しくシンカネットによる新ホームページを立ち上げました。新しいホームページは今までより見やすい構成となり、会員のみなさまには満足いただけるものと思っております。

今後は内容の充実に努めていただきたいと思います。

なお、現在2本立てとなっているホームページはシンカネットに1本化して、ホームページにかかる費用の削減をしたいと思います。

## 2)職業奉仕委員会

委員長 田畑 榮彦

今年度の職業奉仕委員長を務めさせていただきます。

今年度の職業奉仕委員会の予定といたしましては、毎年、秋の職場見学と家族会を開催しておりましたが、今年から秋ではなく春の家族会と共に開催する予定でございます。今のところの予定ですが、福井県の黒龍酒造への職場見学を予定しております。美味しいお酒と共に皆様との懇親を深めたいと思っております。詳しいことが決まりましたらお知らせいたします。

1月の職業奉仕月間に因んでの卓話とフォーラムは1月21日に予定しております。豊中RCから地区の職業奉仕委員会へは武枝会員と松本拓朗会員が出向して下さっています。お二人のお力をお借りして意義のある職業奉仕月間にしたいと考えております。

この一年、皆様のお力をお借りして頑張っていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

## 3)社会奉仕委員会

委員長 佐川 正治

例年の流れを踏襲して、大阪大学の留学生支援、市民環境会議の「社会を明るくする運動」への参加、社会奉仕フォーラムの開催等を実施していきたいと思っております。また、前年度の藤田委員長が、地区に申請していました、「多機能型事業所(みらい)への支援」のプロジェクトが地区財団委員会審査で承認され、ロータリー財団に申請してもらうことになりましたので、会長、幹事、前委員長と補助金の使途を相談し有効にプロジェクトを進めていこうと思っております。

皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

### ○ 留学生支援担当

委員長 宮田 幹二

豊中RCの留学生支援奨学金は、大阪大学大学院理学研究科の博士後期課程の私費留学生に、3年間を限度として毎月6万円が支給されます。この豊中RC奨学金は、生活支援に加えて、ロータリーの心を通してのロータリアンとの親睦が特徴であり、異文化理解と国際交流のための国際奉仕活動の一つです。

豊中RC奨学生の Xu Ranさんは、新しい研究プロジェクトへの参加が決まり、奨学金支給は2024年6月で終了しました(支給期間;2023年1月から2024年6月、研究:染色体異常の発生メカニズム)。次の奨学生の採用に向け、募集を行います。

国際奉仕委員会カウンセラーを中心に活動していますが、基本は全員参加型の奉仕活動です。例会への出席と短いスピーチ(義務として月一回)と、例会後の懇談会、卓話(原則、年一

回)、歓送迎会、春秋のRYLAセミナー、春秋と年度末の家族会、会員の自由企画による各種懇親会(夕食会、茶会、会員宅訪問、バーベキュー、ハイキング、花見など)など、様々な親睦の機会が年間を通して用意されています。

奨学資金(毎月 6 万円、年間 72 万円)は、各会員からの寄付(年間 2 万円(四半期毎5千円))、RI2660 地区補助金(一名一回のみ応募可、年間奨学金の約半額の補助、昨年度は約30万円)、会員からの特別寄付、留学生基金の前年度繰越金などで賄われています。

留学生への皆様の御支援をお願い致します。

#### 4)国際奉仕委員会

委員長 藤田 充男

2020 年にスタート致しました GG2093716 はタイ南部のスラタニー地区の病院(Bang Na San 病院)へレントゲン機器や外科キット等(総額\$99300)を寄贈いたしました。これ以降は 2022 年の(GG2236914 総額\$47,000)北部スコートタイ県にあるシーサンウォンスコートタイ病院に医療機器(人口呼吸器、心電図測定装置)を寄贈しました。

この二つの GG に対しての現地視察はコロナ禍の為できませんでした。今回、7 月 26 日から 31 日までの期間で GG2093716 の視察を行います。GG2236914 はタイの北部の地域であるためどちらもの視察は難しく、今回は南部の都市 Bang Na San への視察を行う予定です。今後もシーロム RC と連携し継続奉仕としてタイ国とのグローバルブランド(GG)を獲得していきたいと思えます。

会員の皆様ご意見を聞き、ご支援、ご協力、お願いいたします。

#### ○カウンセラー

担当 村司 辰朗

当クラブ独自の奉仕プロジェクトである、大阪大学留学生への奨学金制度は現在会員から年間一人当たり 2 万円の寄付金などを原資として運営されています。

国を離れて他国で勉学するということは、言語に限らず相談する大人も少ない中で大変なことと思います。こうした留学生にクラブとして寄付金だけでなく、日本の文化など紹介して日本での生活に慣れていただくようアシストしていきたいと思えます。

なお、今年度の留学生は現時点では確定しておりませんが、大阪大学を通じて早急に紹介していただきたいと思えます。

#### 5) 青少年奉仕委員会

委員長 船橋 輝夫

本年度、青少年奉仕委員会の担当を御指名頂きました。

昨年度は米山奨学生のカウンセラーを入会初年度より指名頂き自分なりに、その役割を思考して努めて参りました。

その経験を活かして入会二年目の青少年奉仕委員会担当に際して私の役割を次の様に考えます。

豊中RCとして青少年奉仕委員会はどのような役割を担うのかを学び理解したく存じます。

その為、本年度会長のクラブ運営方針と行動計画プログラムに沿って事業を進めます。

眞下会長方針にある RYLA セミナー(2024.9.14)の協力、そして出前授業と教育フォーラムの開催を眞下会長の意向と指示に沿って具体的に行動して参りたく考えます。

会員皆様方のお教えと御協力を賜りたくお願い申し上げます。

## 6) R 財団・R 情報・研修委員会

委員長 宮田 幹二

RC会員(ロータリアン)は、(1)R 財団に寄付し資金を提供する、逆に(2)この R 財団の資金を活用して奉仕する、つまり両面的に活動します。

R 財団は、年次基金、恒久基金、ポリオプラス基金をもち、毎年定期的に寄付を募っています。

第2660地区では、各基金に、一人当たり 150ドル、30ドル、50ドルの寄付を毎年要請しています。豊中 RC では、例年、これらの寄付を会費と同時に徴収し、寄付しています。R 財団はこれらの基金を運用し、各クラブに還元しています。その方法は公募方式で、グローバルグラント(略称 GG)と地区補助金(略称 DG)の二本立てです。

前者の GG に関して、豊中 RC の奉仕提案は、何度も採用されています。直近では、タイ王国シーロム RC との協同でサン・ウォン・スコータイ病院へ医療機器が寄付されました。今年度も医療機器支援事業を行う方向で進んでいます。

後者の DG には、( i )豊中 RC 独自の大阪大学理学研究科の留学生支援、( ii )豊中市内子ども食堂支援のため、毎年交互に応募し、毎年採用されています。

ポリオプラス基金は、世界中からポリオ撲滅することを目指した諸活動に継続的に使われ、今やパキスタンとアフガニスタンに感染者が出るだけとなっています。

以上の奉仕活動について、会員研修ハンドブック・会長の時間・地区研修委員の卓話などで再認識することを目指します。

## 7)米山奨学委員会

委員長 松山 辰男

米山奨学事業は日本のロータリークラブの最重点活動の一つで、4 月 20 日に開催された次年度に向けての地区研修協議会においても、独立した部門別協議会が開催され、過去の寄付金実績と奨学生配分が報告されました。2022-23 年度の各クラブの寄付実績を基礎にして2024-25年度の新規奨学生が割り当てられます。個人平均寄付額の地区別寄付実績では2660地区は全国 2 位で、51 名の奨学生が割り当てられています。豊中ロータリークラブの個人平均額は 27,176 円で、地区目標額 30,000 円にも達しておりません。2024-25 年度も地区目標は個人平均 30,000 円とされました。目標額を達成しているクラブも多く、次年

度以降の奨学生割り当てを確実にするためには、せめて地区目標額を上回る必要があります。今年度には、毎期に集金しているクラブとしての寄付金に加えて、米山月間である 10 月には地区目標の1人 30,000 円はオーバーしたいと思っています。しかし、即効性はなく、今年度の実績は2026—27年度以降の奨学生割り当てに反映されることとなります。

#### ○ 米山カウンセラー

カウンセラー 船橋 輝夫

米山カウンセラーの担当を前年度に引き続きさせていただきます。

昨年度は私も豊中RC入会早々の一年目であり米山奨学生のAjsaihan さんも米山奨学生一年生であり、初対面のその場面より以心伝心お互いに頑張ろうという志が芽生えて良い関係を育む事が出来ました。

私が趣味とする馬との関わりが、彼女の母国の話題とも合致してより深い心の絆を作ることが出来ました。

昨年度は奨学生やその OB・OG 会への参加、RC の企画会合にも積極的に共に多く出席する事が出来ました。

本年度は、昨年度の経験を踏まえて更に良きサポート目指して参ります。

彼女がより勉学研究に意欲を高め 学業で成功する様に努めます。

そして Ajsaihan さんが日本と日本人の心をより深く理解して米山奨学事業と RC に感謝と報恩の気持ちを深めて頂く様にカウンセラーの役割を目指して行動して参ります。

会員皆様の奨学生達への御支援賜りたくお願いするところございます。

#### 8)クラブ史編集・規定細則委員会

委員長 米田 眞

本年度は当クラブとして特別な行事はありませんが創立65周年を過ぎぼつぼつ 70 周年を考える時期ではないかと考えます。

#### 9)未来計画委員会

委員長 宮田 幹二

未来計画はクラブを育て、発展させるためのものです。既存委員会との連絡を取り、会員皆様の意見を聞き、問題点を明らかにして、委員会活動の計画、実行を支援していきます。

第2660地区では、各クラブに中期3ヶ年計画を作成することを奨励しています。豊中RCでも、従来からの奉仕活動をもとに、具体的な活動目標を立て、このような中期計画を作成したいと思います。

前年度から、ホームページのリニューアルを進め、外部・内部への発信力を強化しています。これまで以上にスマートフォンに対応させ、いつでもどこでも豊中 RC ホームページの閲覧が可能となっています。奉仕・親睦の諸活動はアルバム形式の活動便りとして掲載されています。さ

らに、デジタル化されたクラブ関係資料、地区行事資料の一部が常時閲覧可能になっています。今後、内容を充実させ、家族や関係者、さらに一般の人も楽しめるようになればと願っています。

今年度、規定審議会による定款、細則が変更されれば、対応が必要です。

## 10)SAA

委員長 武枝 敏之

今季より、例会場の開催の部屋の変更があります。形式的には、多少の変更があると思われます。ただし、豊中ロータリークラブの伝統と格式は、出来るだけ継続したいと思います。

国歌斉唱、ロータリーソング、クラブ標語などを実施する方針です。

特にロータリーソングは、最近の入会者にはなじみがないと思います。少しでも認知されるように努めたいと考えております。

外部卓話の時は、紹介者による謝辞の実施に努めたいと考えております。

秩序ある、楽しい例会になるよう努めます。

# VI 付 表

2024~2025年度 予 算 表

豊中ロータリークラブ一般会計予算

(単位:円)

収 入	
前年度繰越金	299,280
通常会費	9,000,000
特別会費	2,367,600
豊中RC奨学金	600,000
雑収入	100,000
計	12,366,880
支 出	
分担金・運営管理費	10,921,650
奉仕活動助成金	400,000
周年記念事業積立金	200,000
事務局慰労金積立金	100,000
豊中RC奨学生基金	600,000
予備費	145,230
計	12,366,880

豊中ロータリークラブ奉仕会計予算

収 入	
前年度繰越金	321,730
ニコニコ箱寄付金	1,700,000
一般会計から受入金	400,000
留学生基金から受入金	720,000
親睦行事(会費)	1,720,000
計	4,861,730
支 出	
支出(奉仕部門)	3,690,000
S A A 費	300,000
豊中RC奨学金	720,000
特別記念行事積立金	100,000
予備費	51,730
計	4,861,730

※別に

特別記念行事積立金	3,849,002
周年記念行事積立金	2,125,506
事務局慰労金積立金	235,467
留学生基金積立金	1,532,419
地区補助金	0

(2024.6.30 現在)

## 2024-25年度 一般会計予算(内訳)

### 【収入の部】

(単位:円)(Rレート 1\$=154円で計算)

科 目	前年度実績	今年度予算	内 訳(今年度予算)
1. 前期繰越金	1,565,960	299,280	
2. 通常会費	9,225,000	9,000,000	年会費 30 万円×30人(四半期毎75,000円)
3. 特別会費	1,672,100	2,352,600	地区大会(資金/登録料)、R財団、米山財団
4. 豊中RC奨学金	615,000	600,000	2万円×30人(四半期毎5,000円)(特別寄付)
5. 来客登録料	24,000	15,000	3,000円×5人
6. 寄付・雑収入	19,519	100,000	寄付、R手帳、利息など
合 計	13,121,579	12,366,880	

### 【支出の部】

科 目	前年度実績	今年度予算	内 訳(今年度予算)
1. RI人頭分担金	339,515	367,290	\$39.25×154円×2(前期/後期)×30人 \$1×154円×30名(規定審議会追加7月支払)
2. 第2660地区・IM1組	1,468,800	1,135,000	
・地区運営資金	310,000	300,000	5,000円×30人×2(前期/後期)
・地区活動資金	217,000	210,000	3,500円×30人×2(前期/後期)
・地区大会資金	155,000	150,000	5,000円×30人
・地区大会登録料	155,000	150,000	5,000円×30人
・地区研修・協議会分担金	80,000	90,000	90,000円(会員数30-50人未満)
・IM第1組Rデー分担金	83,800	85,000	
・各種R会合参加費	68,000	150,000	会長幹事会、晩餐会、記念式典、PETS、FRなど
3. R財団	1,216,940	1,062,600	
・R財団年次基金寄付	739,040	693,000	\$150×154円×30人
・R財団ポリオプラス寄付	293,140	231,000	\$50×154円×30人
・R財団恒久基金寄付	184,760	138,600	\$30×154円×30人
4. 奨学金	801,000	900,000	
・米山財団普通寄付	186,000	180,000	6,000円×30人【特別寄付は奉仕会計に記載】
・豊中Rクラブ奨学金	615,000	600,000	20,000円×30人
5. Rの友・手帳・要覧	117,997	120,000	Rの友(275円×34冊×12ヶ月)、R手帳 700円
6. 例会費・交際費	3,128,136	3,131,760	
・例会食費(室料を含む)	2,921,327	2,831,760	4560円×23人×27回(室料を含む概算)
・会議室使用料	79,284	100,000	クラブ協議会、情報集会、トークイン桜 など
・交際費	127,525	200,000	慶弔費、御見舞、名刺など
7. 事務管理費	4,787,262	4,925,000	
・人件費	1,140,000	1,140,000	95,000円×12
・外注費	2,335,000	2,275,000	175,000円×12、夏75,000円、冬100,000円
・事務室借室料(電気代も)	889,635	960,000	平均80,000円×12(電気代を含む)
・通信費(NTT, Internet)	152,557	210,000	NTT(平均15,000円×12)、Internet(3万円/年)
・什器備品・複写機	66,962	40,000	複写機リース料など
・消耗品費	165,552	150,000	印刷用紙、ソフトウェアなど
・諸雑費	37,556	150,000	郵便、宅急便、振込、振替など
8. 奉仕活動助成金	662,589	400,000	
9. 周年記念行事積立金	200,000	200,000	
10. 事務局慰労金積立金	100,000	100,000	
11. 予備費	0	145,230	
12. 次年度繰越金	299,280		
合 計	13,121,579	12,366,880	

## 2024-25年度 奉仕会計予算(内訳)

### 【収入の部】

(単位:円)

科 目	前年度実績	今年度予算	内 訳(今年度予算)
1. 前期繰越金	1,168,710	321,730	
2. ニコニコ箱寄付金	2,203,580	1,700,000	利息を含む
3. 一般会計から受入金	662,589	400,000	
4. 留学生基金から受入金	720,000	720,000	(支出と同額)【地区補助金約30万円】
5 親睦行事(会費)	1,411,000	1,720,000	
合 計	6,165,879	4,861,730	

### 【支出の部】

委 員 会	前年度実績	今年度予算	内 訳(今年度予算)
1. クラブ奉仕委員会	522,680	580,000	会員証・新会員グッズ、会員名簿、クラブ現況、ピアノ伴奏料
2. 親睦委員会	2,021,760	1,990,000	家族会(納涼会、秋、年末、年始、春、創立記念)
(家族会などの参加費)	1,411,000		
3. 雑誌広報会報委員会	257,400	100,000	ホームページ(SNS対応)
4. 職業奉仕委員会	152,790	150,000	職場見学、フォーラム
5. 社会奉仕委員会	156,687	200,000	子供食堂、豊中祭、環境展、美術展、フォーラム
(豊中RC留学生支援)	720,000	720,000	毎月6万円×12
6. 国際奉仕委員会	145,260	400,000	タイ現地視察、サンマテオ、フォーラム
7. 青少年奉仕委員会	102,650	200,000	子供食堂、RYLA登録料、フォーラム
8. (教育問題検討)	0	0	
9. R財団委員会	0	10,000	【R財団寄付総額: 約120万円】
10. 米山奨学委員会	10,000	10,000	米山梅吉記念館寄付【寄付総額: 約100万円】
11. SAA	239,000	300,000	各種の御祝品(ニコニコ)
12. 諸雑費	4,922	50,000	郵便、宅急便、振込、振替など
13. 留学生基金積立金	0	0	
14. 特別事業準備積立金	100,000	100,000	
15. 予備費	0	51,730	
16. 次年度繰越金	321,730		
合 計	6,165,879	4,861,730	